

議会運営委員会

日時 令和7年10月6日(月)～8日(水)



詳細はこちら

北海道登別市

「議会改革の実例を中心にした多様な制度・取り組みについて」

議会基本条例では、「基本条例チェックシート」と「議員自己評価表」を活用し、議員自らが施策の効果や課題を検証できる体制が整備されていました。オンライン委員会の導入やコンプライアンス強化の取り組みは、デジタル技術の活用による効率化と透明性向上に寄与しており、非常時における柔軟な運営が期待されています。



感想 議会改革の多角的な取り組みからは、地域行政の未来を切り開くための熱意と挑戦の姿勢を強く感じました。

北海道小樽市

「議会改革の取り組みに関する先進的な事例について」



議会ルールの見直し、市民との連携強化、そして議員の資質や働き方改革に向けた具体策等を視察しました。

感想 議会改革推進に向けた取り組みに当たり、政策のブラッシュアップや新たな試みの検討に大いに活かすことができると感じました。

北海道石狩市

「議会改革の取り組みについて」



ハラスメント防止条例の制定背景や運用状況について、市議会内部での意識改革とともに、職員・議員双方が安心して意見交換できる仕組みが実現されていました。議員間討議の場では、議題ごとに様々な視点が交錯し、活発かつ建設的な議論が行われています。

感想 ハラスメント防止条例の制定は、議会内部の環境改善に向けた重要な第一歩であり、職員や議員の働きやすい環境づくりに寄与していると感じました。

総務常任委員会

日時 令和7年11月5日(水)～7日(金)



詳細はこちら

福岡県那珂川市

「投票率向上の取り組みについて、防災・減災の取り組みについて」

若者に選挙への関心を高めてもらうため、小学6年生を対象に実際の投票所である小学校の体育館に本物の投票箱や記載台等を設置し、簡単な投票テーマを設け、投票を実施しています。また「家族でGoTo選挙!」ではチラシに抽選券を付け、子どもが抽選応募箱に投票する事業を実施しています。



感想 給食を題材にし、小学6年生を対象に実際の選挙様式で選挙体験を行う「給食推し選挙」は、主権者教育としてとても素晴らしいと感じました。

空き家活用 推進補助金



福岡県糸島市

「移住・定住促進事業について」

海と山に囲まれた豊かな自然と福岡市までの車や鉄道でのアクセスの良さから近年移住者が増えており、移住・定住支援を行い、人口が毎年増加しており、2024年2月には市合併後最多になりました。

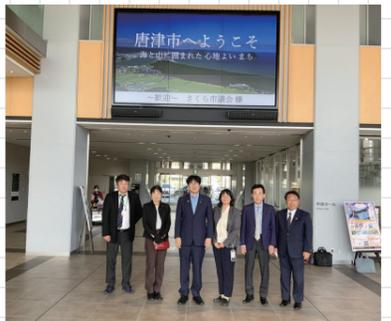
感想 本気で移住定住による人口増に取り組むのであれば専門部署が必要であると感じました。

佐賀県唐津市

「新庁舎建設事業について、ふるさと納税について」

来庁者が迷うことなく、より簡単に、より利用しやすい窓口機能を整備し、円滑で安心できる行政サービスの提供を基本コンセプトとして建設した新庁舎と、ふるさと納税収支プラスランキング上位である唐津市のふるさと納税の取り組みについて視察を行いました。

感想 機能性、利便性が高く、環境負荷に配慮した素晴らしい庁舎だと感じました。免震構造であり、非常用電源、給・排水の備えも十分な防災拠点でもあったと感じました。



先進地に学ぶ

建設経済常任委員会

日時 令和7年11月11日(火)～13日(木)



詳細はこちら

新潟県新潟市

「沼垂テラス商店街について」

かつての市場の賑わいを失いシャッター通りと化していた新潟市沼垂地区の長屋を再生した商店街で、約200mの長屋を一体的に経営することで、「ここでしか出会えないモノ・ヒト・空間」をコンセプトに民間主導で生まれ変わりました。



感想

まちづくりを民間の株式会社で行い、国や自治体の補助を受けずに金融機関等の融資でやり繰りするのには珍しく、本市の取り組みの参考になりました。



新潟県長岡市

「中心市街地の総合的なまちづくりについて」

アオーレ長岡は、市役所機能とアリーナ、市民交流の場などが一体となった複合施設で、市民の多様な活動やイベントが開催される「文化・情報・交流の場」となり、市民に愛される場所へと変化しました。



感想

規模は違うが、氏家駅東口の開発や、庁舎建設等、まちづくり全般において、今後の本市の取り組みの参考になりました。



新潟県長岡市

「道の駅ながおか花火館について」

長岡花火を一年中楽しめる観光・交流拠点施設。ドームシアターで迫力ある長岡花火の映像と音を体験できるほか、フードコートやレストラン、長岡の特産品販売コーナーがあります。高速道路からの立ち寄りで関越自動車道長岡ICから、途中下車しても再度戻れる施設です。また、非常用電源、防災トイレ、防災倉庫、貯水タンクが備わり、災害対応型の道の駅として、国土交通省の重点道の駅候補にも選定されています。



感想

道の駅でありながら、博物館を運営するなど、所管の垣根をこえた取り組みが参考になりました。



先進地に学ぶ

文教厚生常任委員会

日時 令和7年11月12日(水)～14日(金)



詳細はこちら

高知県南国市

「食育のまちづくりの学校給食について」

南国市は、平成17年に「食育のまちづくり宣言」を行い全市を挙げて「食育」に取り組んでいます。当市でも推進している地場産米、地場産品の使用も積極的に行われ、幼稚園・小学校で、南国市産青果物・令和6年度目標27%(金額ベース)を達成しています。また、学校給食充実のため、家庭、地域への啓発活動も積極的に行われています。



感想

当市においても、新学校給食センターが稼働したことから、さらに学校給食を充実させていくべきであると感じました。



香川県三豊市

「バイオマス資源化センターみとよについて」

三豊市の可燃ごみ施設は「好気性発酵乾燥方式」を採用し、可燃ごみを微生物の力で発酵・乾燥させて、固形燃料の原料として再資源化させています。バイオフィルターで臭気を脱臭し、排水、煙、ダイオキシンが発生しない、低コスト、事故対応に優れているなどの多くのメリットがありました。



感想

導入を検討している自治体も参考にしながら、塩谷広域での導入の検討も必要であると感じました。



愛媛県四国中央市

「子ども若者発達支援センター『Palette』について」

四国中央市「こども若者発達支援センター(愛称: Palette)」は、専門職(言語聴覚士・作業療法士など)を市の職員として積極的に採用し、支援の質の向上に取り組んでいます。



感想

当市においては個別支援ファイル「さくらっこ」の活用により、一人ひとりに寄り添った切れ目のない支援にさらに力を入れて欲しいと感じました。

